

令和3年6月 南魚沼市議会定例会
一般質問順位表

質問順位	議席番号	質問者	日程
1	9	桑原圭美	7日 (月)
2	10	塩川裕紀	
3	13	岡村雅夫	
4	20	塩谷寿雄	
5	16	中沢一博	
6	19	関常幸	
7	15	寺口友彦	8日 (火)
8	6	田中せつ子	
9	14	佐藤剛	
10	4	吉田光利	
11	2	梅沢道男	
12	3	目黒哲也	9日 (水)
13	1	大平剛	
14	7	勝又貞夫	
15	11	清塚武敏	
16	5	中沢道夫	
計		16名	

【質問方式】（質問制限時間は、いずれも答弁時間を含め 60 分）

一括質問一括答弁方式： 全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。
（初回は登壇して行い、質問回数は 3 回まで。）

一問一答方式： 質問及び答弁を一問ずつ行う。（ただし初回の質問は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。質問回数に制限なし）

複合型一問一答方式： 一問一答方式において、質問大項目の最初の質問はまとめて行い、以降は一問ずつ行う。

質問 順位	質 問 内 容
2	<p style="text-align: center;">自殺予防対策について</p> <p>コロナ禍による不安や焦燥感、その他の要因によって自殺者が増加している。より一層の自殺予防対策が急務であると考えているが、今後どのように取り組むのか伺う。</p> <p>(1) 南魚沼市の自殺者をめぐる状況は。</p> <p>(2) 自殺予防対策の取組は。</p> <p>(3) 年齢層ごとの自殺予防対策は。</p>
議 席	
10	
<p>塩 川 裕 紀</p> <p>(一問一答方式)</p>	

質問 順位	質問 内 容
3	新ごみ処理施設整備について
議席	
13	
岡 村 雅 夫 (一問一答方式)	<p>所信表明に新ごみ処理施設整備については、1日も早い建設地の選定を鋭意進めていく。施設の整備内容等は、二市一町で協議してきた内容を基本として、新たな施設規模や方針に沿った内容となるよう、湯沢町と協議を進めていくとある。</p> <p>一連の経過の総括がされ、昨今の社会情勢等から、ごみ政策の新たな方針が立てられ、進められると考える。</p> <p>(1) 2008年に高効率ごみ発電施設建設を、交付金のかさ上げによって誘導する施策を導入して以降、日本のごみ総排出量は、減少率が鈍化している。</p> <p>① 4月22日の社会厚生委員会で、湯沢町との一市一町の取組となったために、焼却炉の必要処理能力の変更が示された。新たな方針に沿った、目標値を定めたごみ減量化策を伺う。</p> <p>② 事業系ごみは、焼却ごみの4割で、焼却炉規模に大きな影響を及ぼす。人口減少等で家庭系ごみは少しずつ減少していくが、事業系は変化がなく、ほぼ横ばいとしている。焼却ごみ減量に向け、積極的な政策展開が必要と考えるが、所見を伺う。</p> <p>③ 焼却優先から3Rを主体としたごみ政策で、焼却炉規模は限りなく縮小すべきと考えるが、所見を伺う。</p> <p>④ 今後のスケジュールを伺う。</p> <p>(2) 2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ、廃プラスチックの海洋汚染問題等で、ごみ政策の転換が必要と考えるが、所見を伺う。</p>

質問 順位	質 問 内 容
6	1 南魚沼市の「医療のまちづくり」に関する基本的方針について
議席	(1) 医療のまちづくり検討委員会をなぜ設置しなければならなかったのか、その経緯について伺う。
19	(2) 医療のまちづくりとっているが「まちづくり」の内容について伺う。
関	(3) 市民病院の経営改善は確実に早期にできるのか伺う。
常	(4) ゆきぐに大和病院の改築と移転場所について伺う。
幸	(5) 健診施設の健友館の在り方について伺う。
一	(6) 城内診療所の今後について伺う。
問	(7) 医師、看護師の確保について伺う。
一	(8) 地域づくり協議会との連携について伺う。
答	2 日本国憲法について
方式	<p>私たち国民は、日本国憲法のもとで生活している。日本国憲法は昭和21年11月3日に公布、昭和22年5月3日に施行され74年たっている。経済や社会、外交環境は当時とは大きく変わってきているが、憲法は1回も改正されていない。アメリカは27回、フランスは24回、ドイツは62回、カナダは18回改正されている。</p> <p>直近のNHKの世論調査では、憲法改正が必要かどうかについて、改正の必要あり33%、改正の必要なし20%、どちらともいえない42%であり、憲法改正の議論を進めるべきかどうかについては、進めるべき54%、進める必要はない27%、わからない19%であった。また、戦争の放棄を定めた憲法9条の改正については、改正の必要あり28%、改正の必要なし32%、どちらともいえない36%であった。</p> <p>憲法制定当時と比べ社会は激変しており、国会で大いに議論し、憲法改正は必要であると考えているが、市長の見解を伺う。</p>

質問 順位	質問 内 容
1 1	1 介護人材確保緊急支援事業の障がい者施設への対象拡大について
議席	
2	南魚沼市では、介護人材確保緊急支援事業として、介護職員初任者研修支援や新規・移住定住就職支援金支給事業、カムバック支援金支給事業、ケアマネスタートお祝い金支給事業等を実施しているが、これらの対象を障がい者施設にも拡充すべきではないか。
梅 沢 道 男 (一問一答方式)	2 新生児聴覚検査費等の助成について
	(1) 新生児聴覚検査については、厚生労働省より「全ての新生児の検査の実施」が指導されているところだが、当市においても検査費用の助成制度創設が必要ではないか。
	(2) 当市では、聴覚障がい者の補聴器を固定するイヤーマールドに対する助成制度はあるものの、人工内耳用のイヤーマールドは助成対象となっていない。人工内耳用のイヤーマールドも助成対象とすべきと思うが、考えを伺う。
3 柏崎・刈羽原発再稼働に対する取組について	
(1) 市長が新潟日報のアンケートに答えたように、柏崎・刈羽原発の再稼働には県と全市町村の事前同意が必要と思うが、実現に向けた取組についての考えを伺う。	
(2) 原発における不適切事案の情報公開の実現について 当市との安全協定第2条に係る通報連絡が、核セキュリティに関する事項との理由により、通報連絡が行われない事案が発生している。市民の安心のためにも迅速な情報公開が必要と思うが、実現に向けた取組についての考えを伺う。	

質問 順位	質問 内 容
13	<p style="text-align: center;">公共施設の統廃合について</p> <p>(1) 具体的なタイムスケジュールは。</p> <p>(2) 統廃合後の施設運営は。</p> <p>(3) 市民の理解を得るための説明はどのように進めていくのか。</p>
議席	
1	
<p style="text-align: center;">大 平 剛</p> <p style="text-align: center;">(一問一答方式)</p>	

質問 順位	質問 内 容
15	<p>1 上水道の事故・災害時の対応は万全か</p>
議席	
11	
清 塚 武 敏	<p>3月20日の夕方から翌日の21日の夜まで、藪神地区の広範囲にわたり水道管の破損により断水となった。あらためてライフラインの大切さを実感した。あわせて昼夜復旧対応、給水活動を行った職員、関係者に感謝する。上水道管路新設及び更新工事も進められているが、課題もあると感じる。今後の事故・災害時の対応について伺う。</p> <p>(1) 今回の断水の原因と教訓は何か。今後の対策をどのように進めていくのか。</p> <p>(2) 法定耐用年数40年を超えている管路が2割あると聞く。今後の更新は追いついていくのか。</p> <p>(3) 水道技術者、一定以上の知識や実務経験を有する水道技術管理者の育成や工事監督者の育成は。</p>
(一 問 一 答 方 式)	<p>2 八海山麓観光施設を雪国の特性を生かしたまちづくりに</p> <p>総合計画の中で、八海山麓観光施設の今後の運営形態を検討していくとしている。索道設備などの安全面の状況も踏まえれば早期に方向を示さなければならない。市では地方創生推進交付金事業として、雪国で共に創るスポーツを通じた健康増進プロジェクトが採択され、雪国の特性を強みとしたスポーツによるまちづくりに取り組むとしている。大和地域唯一のスキー場は、市民の冬季の健康づくりや自然環境に触れることができる場所であり、地元の若い人たちが将来について夢を描いている。グリーンシーズンのマウンテンバイク、旧大和町時代からのサイクリングターミナルの取組など、自転車を通じた健康づくりや、地域づくりにもつながると考えるが市長の考えを伺う。</p>

質問 順位	質 問 内 容
16	1 新型コロナウイルス対策について
議席	(1) 新型コロナウイルス封じ込めのための大規模検査について
5	① クラスター発生を防止するため、高齢者施設などの福祉施設において、職員や利用者の大規模検査を行うべきではないか伺う。
中	② 感染力の高い変異株が広がり、モニタリング検査が重要になっているが、当市もモニタリング検査に踏み出すべきではないか伺う。
沢	③ 遺伝子解析検査が地域でスクリーニングできるような体制を整えるべきではないか伺う。
道	(2) コロナ禍で困難を極める市民への生活支援について
夫	① 持続化給付金などの、第2弾の実施を国に働きかけるべきではないか伺う。
(複	② 今年度の地方創生臨時交付金を有効活用して市の独自支援をすべきと考えるが、見解を伺う。
合	(3) 新型コロナウイルス感染拡大に備えた医療体制について
型	① 全国各地で病床がひっ迫する中、政府は、「病床削減法」を通
一	過させた。こうした政府の姿勢をどのように受け止めている
問	か伺う。
一	② 感染の収束が見えない中、市民病院でも備えが求められると
答	思うが、市としての取組を伺う。
方	2 「医療のまちづくり」に関する基本的方針について
式	(1) 市民病院の経営改善について、総務省の「公立病院医療提供
)	体制確保支援事業」は、指定管理制度の導入や病院の介護施設
)	への転換など、重要な内容が採択要件になっているが、議会で
)	諮らず申請に至ったのか伺う。
)	(2) 6月議会最終日に補正予算案を提出とのことだが、まずは今
)	回の基本的方針について市民への説明と意見を聞くことが先で
)	はないか伺う。
)	3 米価下落対策について
)	(1) コロナ禍による需要減によって米価の暴落が続いている。こ
)	の状況に対する認識を伺う。そして、これを防ぐために「過剰
)	在庫」を国が責任を持って市場隔離すべきと考えるが見解を伺
)	う。
	(2) ミニマム・アクセス米の輸入数量調整を政府に求めるべきだ
	と思うが見解を伺う。